

今週のお祈り 復活日特禱

すべての命と力の源である神よ、あなたはみ子の力ある復活により、罪と死の古い支配の力に打ち勝ち、み子にあって万物を新しくしてくださいました。どうか、わたしたちが罪に死に、イエスキリストにあってあなたに生き、栄光のうちにみ子とともに支配することができるようにしてください。父と聖霊とともに、讚美と誉れ、栄光と力が、今もまた永遠にみ子にありますようにアーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木2-20-1  
でんわ：03-3710-6031

号外 192

発行日  
2024年  
3月31日

イースター おめでとうございます！！今日はイエスさまがご復活なされた喜びの日！よみがえりのイエスさまは今も私たちとともにおられます。感謝して、みんなで祝いましょう。ハレルヤ🐣



今週の聖書 マルコによる福音書 16：1～8  
1 安息日が終わると、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは、イエスに油を塗りに行くために香料を買った。2 そして、週の初めの日、朝ごく早く、日の出とともに墓に行った。3 そして、「誰が墓の入り口からあの石を転がしてくれるでしょうか」と話し合っていた。4 ところが、目を上げて見ると、あれほど大きな石がすでに転がしてあった。5 墓の中に入ると、白い衣を着た若者が右手に座っているのが見えたの

聖書からのメッセージ 「ガリラヤで」 主教 高橋 宏幸

お墓ではなしにガリラヤこそが、生きておられるイエスさまに目にかかる場所だと天使は告げます。

初め弟子や女性たちは、イエスさまはお墓の中にいらっしゃる筈だと信じて、疑わずにいました。ところが、イエスさまと出会うのは私たちが決める場所ではなく、イエスさまの方が私たちと出会うと決めておられる場所でのことでした。

私たちは、イエスさまをお墓の中に閉じ込め、自分に都合のよいイエスさまを見ようとしがちですが、「あの方は復活なされて、ここにはおられない」という言葉が告げられます。

私たちが、最早イエスさまとは出会えないと気落ちし、道は閉ざされたと思う所においてこそ、甦りのイエスさまは待っておられます。今も、そして、これからも！ イースター、おめでとうございます！

で、わたちはひどく驚いた。6 若者は言った。「驚くことはない。十字架につけられたナザレのイエスを捜しているのだろうか、あの方は復活なされて、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である。7 さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる。』8 彼女たちは、墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、誰にも何も言わなかった。恐ろしかったからである。